

園・学校での「情報モラル教育（ネット健康被害問題）」

出前授業 と 保護者啓発講演 を 無料 で承ります！

コロナ禍で子どもたちのインターネットやスマホの利用時間は増加しました。また、学校では一人1台の端末配備、活用によりネット接触時間はさらに延び、それらによる健康被害自覚症状は増えています(本団体調査2020、2021)。しかし、学校で行う「情報モラル教育」、特にネット健康被害の教育はほとんど進んでいないのが現状です。

ネットやスマホの長時間接触による脳・視聴覚神経の発達障害、心と体の健康被害、ネット依存から子どもたちを守るためには、症状と発生要因の科学的根拠にもとづいた教育が急務です。

ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会(以下「THInet」と省略)は、設立時(2017.12)から子ども向け、保護者向け、教師研修用プログラムを開発してきました。また、2020年度からは、群馬大学情報学部教授・伊藤賢一申請代表による科学研究費プロジェクトと連携し、教材開発やカリキュラム開発を展開してきました。

そこで、これらの成果を、科学研究費の成果発表として、2022年度から希望される学校に出向き、出前授業および保護者啓発講演を無料で行うこととなりました。

つきましては、希望される学校は、下記により申し込みください。

【出前授業・保護者啓発講演の特徴】

《子ども対象》

- ① 結論の教え込みはしません。1コマ(40分ないし50分)で、扱う内容は1つか2つの分野に絞り、症状と発生要因の科学的根拠を丁寧に学びます。
- ② 1コマに対話的活動を取り入れ、考え、話し合いの場面を設定し、学び合いの授業になるように編成します。
- ③ 「正しく恐れる」内容から、ネットやスマホと対峙して使用する(対策)心構えが芽生えるようにします。

《保護者対象》

- ① 乳幼児、小学校低学年の保護者にとっては、喫緊の課題です。「ダメ、ダメ」ではなく、保護者がまず「正しく恐れて」その上で、自らのスマホ利用を省み、乳幼児と児童に対応する姿勢を訴えます。
- ② 上記の子ども対象①～③と同様。

【申し込み期日】

《第1次受付開始と締め切り》

- ・2021年12月1日から2022年2月末まで。
- ・予定数に達した場合、2022年度分は締め切ります。その後の受付については、2023年度分枠として優先します。

《第2次受付開始と締め切り》

- ・第1次受付で予定数に達しない場合は、引き続き募集します。応募可能か否かは、THInet web で随時お知らせします。

【申し込み方法と問い合わせ先】

- お申し込み先 : <https://forms.gle/5hYDRUP8wkALPFTK8>
問い合わせ先 : kouza.irai@gmail.com

【出前授業・講演の方法と承り条件】

《方法》：対面授業を原則としますが、コロナの流行状況によりオンライン対応も想定されます(児童生徒も教室で聞く等)。また、派遣講師については、予定する講師(出前授業者)が近隣の都道府県に居住していない場合は、オンラインでの対応かお断りする場合があります。

《承り条件》：科学研究費研究の一環のため、事前、事後調査の協力をお願いします。調査結果は希望する学校にお届けします。

出前授業・保護者講演プログラム

■ 出前授業・保護者講演の内容の枠組み(分野)と主な内容

- (1)脳の発達阻害 (学力低下の事実・要因・脳内の変化、ネット依存傾向者の脳内、スマホ脳等)
- (2)視覚神経の発達阻害 (近視・強度近視の事実・要因、両眼視機能異常の事実・要因と対策等)
- (3)睡眠不足による心と体の不調 (心身の不調とその直接的間接的要因、よい睡眠に必要なこと等)
- (4)運動器の衰えとその他の (運動習慣の減少による体の異変、運動器不全を防ぐ等)
- (5)ゲーム・ネット依存 (ゲーム・ネット依存とは、はまり込まれるしくみ・社会的背景等)
- (6)自分を知りボトムアップのルールづくり (自分の生活を見つめ直す、「正しく恐れ」て、友達同士や学級でのルールづくり、家庭でのルールの見直し等)
- (7)特別編ー子ども言語能力の発達に必要なのは手書き・読書・学び会い (一人1台端末時代の心得)

■ 出前授業・講演の校種別モデル授業・講演とその予定時間 *推奨時間

(1)保育園、幼稚園 保護者対象

- (1)ー1 60分版
- (1)ー2 90分版

(2)小学生児童

- (2)ー1 低学年 40分版
- (2)ー2 中学年 45分版
- (2)ー3 高学年 45分版①
- (2)ー4 高学年 45分版②

(3)小学生保護者

- (3)ー1 60分版
- (3)ー2 90分版

(4)中学生生徒

- (4)ー1 50分版(1コマ)
- (4)ー2 90分版(2コマ連続)

(5)高校生生徒

- (5)ー1 50分版(1コマ)
- (5)ー2 90分版(2コマ連続)

(6)中学生・高校生保護者

- (6)ー1 60分版
- (6)ー2 90分版

*内容とモデルコースについては、学校と相談して調整します。

予定講師陣

講師が異なっても、講演内容は基本的に同じです。プロジェクトとして開発した、モデル授業・講演内容で行います。

○伊藤賢一：群馬大学情報学部教授・プロジェクト申請代表

○大谷良光：青森大学客員教授(元弘前大学教育学部教授)

○内山陽子：THInet 内容・教材開発委員会副委員長・THInet 上級インストラクター

○他 THInet 内容・教材開発委員 8名

○OTHInet 公認インストラクター(伊藤科研プロジェクト登録メンバー)

企画団体：ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会 (THInet) 内容・教材開発委員会 委員長 大谷良光
：科学研究費基盤研究 (B)「不健全なインターネット利用により顕在化した健康被害の実態調査と啓発プログラム開発 (代表：群馬大学情報学部教授 伊藤賢一)」プロジェクト 代表 伊藤賢一